様式第３号（第１５条関係）

○○○○○第○号

○年○月○日

（配分機関 殿）

国立大学法人大阪教育大学長

○　○　○　○　　印

○○○の不正等について（報告）

○○年度（公的研究費の名称）において○○○が行われたことが判明しましたので，下記のとおり報告します。

記

１　経緯・概要

※　発覚の時期及び契機（※「告発（通報）」の場合はその内容・時期等）

※　調査に至った経緯等

２　調 査

（１）調査体制

※　調査委員会の構成（第三者〔当該機関に属さない弁護士，公認会計士等〕を含む調査委員会の設置）

（２）調査内容

※　調査期間

※　調査対象（対象者（研究者・業者等），対象経費〔物品費，旅費，謝金等，その他〕）

※　当該研究者が関わる他の公的研究費も含む。

※　調査方法（例：書面調査〔業者の売上げ元帳との突合等〕，ヒアリング〔研究者，事務職員，取引業者等からの聴き取り〕等）

※　調査委員会の開催日時・内容等

３　調査結果（不正等の内容）

（１）不正等の種別

※　例：架空請求〔預け金，カラ出張，カラ雇用〕，代替請求等

（２）不正等に関与した研究者 （※ 共謀者を含む。）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏 名 （所属・職名（※現職）） | 研究者番号 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

（３）不正等が行われた研究課題（該当する研究課題分作成）※科研費など競争的資金での不正の場合

|  |  |
| --- | --- |
| 研究種目名 | 研究期間 |
|  |  |
| 研究課題名 |
| 研究代表者氏名（所属・職（※現職）） |
| 研究者番号 |
| 交付決定額又は委託契約額　(単位：円） |
| 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 |
|  |  |  |  |  |  |
| 研究組織（研究分担者氏名（所属・職名（※現職）・研究者番号）） |

（４）不正等の具体的な内容（※ 可能な限り詳細に記載すること。）

・動機・背景

・手法

・不正等に支出された公的研究費の額及びその使途

・私的流用の有無

（５）調査を踏まえた機関としての結論と判断理由

（６）不正等に支出された公的研究費の額（該当する公的研究費ごとに該当する年度分作成）

　年度内訳（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費　目 | 交付決定額等 | 実績報告額 | 適正使用額 | 不正使用・不適切使用額 |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 旅 費 |  |  |  |  |
| 謝金等 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 直接経費計 |  |  |  |  |
| 間接経費 |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |

※科研費等競争的資金の場合は，該当する研究課題ごとに該当する年度分作成

４　不正等の発生要因と再発防止策（※当該研究者が関わる他の公的研究費も含む。）

（１）不正等が行われた当時の公的研究費の管理・監査体制

（２）発生要因（※ 可能な限り詳細に記載すること。）

（３）再発防止策

５　添付書類一覧

（例：交付申請書，交付決定通知書又は委託契約書，収支決算報告書，確定通知書，競争的資金等の受取口座の写し，その他参考資料（証憑類等）等）